

2020年8月31日 中東時事アップデート

アミール・ツアルファティ

-だれが携挙されるのか-

[YouTube : 2020年8月31日中東時事アップデート](#)

シャローム、皆さん。アミール・ツアルファティです。イスラエルのガリラヤのオフィスからライブでお届けしています。

そうです。私達はイスラエルにいます。2000年の後、奇跡的に、神は私達をこの地に連れ戻されました。奇跡的に、72、73年後、私達は今、強い国となりました。奇跡的に、私達は今、敵が我々と平和を築きたいと思う国になりました。奇跡的に、私達は今、世界のこの部分に影響を与えている国です。そして奇跡的に、私達は言語を回復し、土地を回復し、地球の四隅から人々が帰って来ています。そのすべては、イスラエルという奇跡で、敵は毎日のように攻撃しようとしています。さて、今日はとても歴史的な日でした。そして、それが、いかに歴史的であったかをお見せしたいと思います。まず、このビデオをお見せしま



ご覧いただいているのは、アラブ・アブダビの地に、初めて、イスラエルの旅客機が着陸したところです。

しょう。ぜひご覧ください。(ビデオ再生)ご覧いただいているのは、アラブ・アブダビの地に、初めてイスラエルの旅客機が着陸したところです。これは、先日お話ししたイスラエルと湾岸諸国との平和の始まりです。それは首長国から始まり、まもなく、さらに他の国々も同様の事を行うのを皆さんも見るでしょう。はっきりさせておきたいのですが、皆さん、これはサウジアラビアの全面的な同意と、奨励のもとに行われています。サウジは、彼らの同意、承認

無しに、このようなことは絶対にさせません。実際、サウジアラビアは今、湾岸諸国を利用して、イスラエルとの和平について、その効果を試しています。そして、ある時点で、恐らく彼らも同じことをするでしょう。彼らにそれが必要かどうかは分かりませんが、彼らは、イスラエルの飛行機が自分たちの領空の上を飛ぶことを許したばかりです。これは、この、フライト971のテルアビブからアブダビまでの航路です。ほとんどのフライトが、ヨルダンを渡った後、サウジアラビア領空に居て、それから、アブダビに着陸しました。着陸に際して、アメリカチームとイスラエルチームは、最終的に、大統領官邸に到着しました。これは信じ難い事です。多分、皆さんが、ここに住んでいない為か、または、長年の戦争状態や、ボイコットされて来た事の意味を、皆さんが理解していないからかも知れません。しかし、イスラエルの旗がアラブの宮殿に誇らしげに立っているとは、信じられません。3日前までは、イスラエルとの関係に関するあらゆることについて、70年近くボイコットを行っていた国です。これは、生涯忘れないでしょう。



これは、この、フライト971の、テルアビブからアブダビまでの航路です。



着陸に際して、アメリカチームとイスラエルチームは、最終的に、大統領官邸に到着しました。

さて、一つ説明しますと、多くの方が...私はそれを見ていますし、質問に答えていますから、知っています。

非常に多くの方が、この和平案に疑念を抱いています。それがどれほど聖書的であるか、説明させてください。これをご覧ください。聖書的に、エゼキエル書38章と39章に近づくにつれ、皆さん、同意されると思いますが、この計画の次に来るのは、私達はエゼキエル書38章の連合が目の前で形成されているのを見ていて、聖書的に...今は、聖書の話しかしていません。聖書的に、イスラエルは強く、安全で、安心で、平和で、強く、繁栄していなければなりません。だから、ここで和平がイスラエルを滅ぼすと疑うことはで

きません。いいえ。このエゼキエル戦争の時、私達は、強く、安全で、安心な国として、非常に繁栄しています。そして、まさにその時、ロシアとトルコとイランが主導する連合に攻撃されるのです。ですから皆さん、理解する必要があります。今、中東で起きていることは、超聖書的なことです。なぜなら、刻一刻とイスラエルは強くなり、イラン、トルコ、ロシアは怒りを増しています。そして、ある時点で…それからもちろんロシアは…シエバとデダンは今、明らかに我々の味方です。これらはすべては、イスラエルの首相のおかげです。彼は過去25年間、過去12年間は特に首相として、イランが中東最大の問題であることを世界に納得させるために懸命に働いてきたのです。そして4年前、彼は次期大統領を説得して、そしてドナルド・J・トランプは、大統領になった瞬間、すぐに動き、行動しました。世界中の誰もが、イランの危険性を理解しています。イランの人々は、それを理解しています。その周りのスンニ派近隣諸国は皆、それを理解しています。エジプトも理解していますし、サウジアラビアも湾岸諸国もヨルダンも、周辺諸国は皆、イランが最大の問題だと理解しています。そして、ドナルド・トランプは、イラン協定から撤退したら、それに制裁を課しました。それが始まりだったのです。皆さん、理解しなければなりません。イスラエルは、イラン国内でなく、他の場所でイランと積極的に戦っている唯一の国です。イラン国内では、また別の事をしています。イランの地では、他のことをしました。今は話すことはできませんが、すでに知られているものも、いくつかありますが、ほとんどのものは知られていません。しかし、皆さんにお伝えしたいのは、イスラエルと、周辺のアラブ諸国は認めています。核プログラムのアーカイブに侵入し、それを盗むことに成功したのは、イスラエルだけです。他の核施設のある場所を公開することに成功したのは、イスラエルだけです。約1ヶ月前にナタンズ核施設に重大な攻撃を内側から仕掛けることができたのは、イスラエルだけです。皆さん、周りのアラブ世界は、イスラエルが安全だと確信しています。そして、実際、イランが、イスラエルとアラブのスンニ派国家との和平を加速させたのです。勘違いしないでください。現在、オマーンとバーレーンが次に並んでいるのです。多分、サウジアラビアも続くでしょう。アラブ首長国連邦が、先陣を切って実行に移しました。そして、首長国連邦の指導者は、イスラエルをボイコットする命令を、2日前に取り消しました。史上初です。そして今日現在、イスラエルの民間航空機がそこに着陸していて、イスラエルの国旗が、今日現在、アブダビ全土に掲揚されています。これらは、素晴らしいことです。

さて、それを疑っている人がいるのは知っていますが、その必要はありません。その理由をお話します。なぜなら、エゼキエルの戦いに至るには、これらのことが起こらなければならないのです。繰り返しますが、イスラエルは強く、尊敬され、安全が確保され、繁栄していて、そしてイスラエルを攻撃する者は、すべての状況にとっても不満を持っている為、イスラエルを攻撃します。これらは、過去を取り戻したい3つの帝国、ロシア帝国、オスマン帝国、ペルシャ帝国です。彼らは、帝国としての過去の地位を回復させたいのです。そしてもちろん、彼らは恐ろしく、おぞましい終焉を迎えます。それについてお話ししました。では、この協定のより現実的な側面に移りましょう。知らない人もいるかもしれませんが、先に先遣隊を派遣して、ある種の作業を始める前に、和平交渉があると言ったり、公の場に出て行ったりすることはありません。お見せしたいものがあります。アブ・サルマという電報チャンネルからです。4つの島々があって、その内のソコトラと呼ばれる大きな島はご覧の通り、イエメンの南にあります。そして2019年にアラブ首長国連邦がそこを占領し、2020年には、そこにいたイエメン軍がアラブ首長国連邦に、忠誠と支援を誓いました。なぜなら、イエメンでも戦争が起きていますから。そして今や、アラブ首長国連邦はその島々の、特定の島を完全に支配しているのです。では、この戦略的な場所を見てください。私が今からお伝えする事は、もうすでに世に出回っているのを見たので、話しても大丈夫な内容です。イスラエルとアラブ首長国連邦は、そこに偵察と諜報施設を建設します。そして、そこから何が見えるか、ご覧ください。ソマリア、イエメンが見え、上にはホルムズ海峡、下にも海峡が見えます。紅海も入っています。ですから、上にペルシャ湾、下は紅海、これらは、イランが支配したかった地域です。イランは、ホルムズ海峡を支配しています。イランは、一方ではソマリア、もう一方ではイエメンを利用して、アデン海峡とアデン湾を支配しています。皆さん、ここで見られるのはイスラエルが前進して、その偵察と諜報能力が、これらの事が起こっている領域に、はるかに近づいているのです。皆さん、理解してください。イスラエルが、この和平から得るものは、言葉では言い表せません。さて、アラブ



さて、そこから何が見えるか、ご覧ください。ソマリア、イエメンが見え、上にはホルムズ海峡、下にも海峡が見えます。紅海も入っています。ですから、上にペルシャ湾、下は紅海、これらは、イランが支配したかった地域です。イランは、ホルムズ海峡を支配しています。イランは、一方ではソマリア、もう一方ではイエメンを利用して、アデン海峡とアデン湾を支配しています。皆さん、ここで見られるのはイスラエルが前進して、その偵察と諜報能力が、これらの事が起こっている領域に、はるかに近づいているのです。皆さん、理解してください。イスラエルが、この和平から得るものは、言葉では言い表せません。さて、アラブ

人はイスラエルの医療機器や技術、サイバーセキュリティを買うようになり、彼らはイスラエルから、たくさん物を買います。ヨーロッパが怒っているのはこのためです。彼らは今、何も売れませんから。明らかに、今はイスラエルが登場しました。しかし、皆さんに知っておいていただきたいのは、軍事情報の観点から見ても、これは金鉱です。覚えておいてください。ソコトラは素晴らしくて、もちろん、言うまでもなく、イランからわずか60キロの距離に、アラブ首長国連邦があります。そして、もし、イスラエルがモサドやイスラエル軍の諜報機関の代表をそこに置けば、我々は、アラブの人々に、リアルタイムで情報を提供することができるのです。もちろん、その日は近づいています。だから、これは、すごいことなのです。皆さん、理解してください。神は、これらのことを私達に祝福してくださいました。トランプ大統領、これをまとめてくださってありがとうございます。それは、聖書と完全に一致しています。イスラエルは、その恩恵を受けるだけです。そして聖書的には、エゼキエル38章の戦争に至るには、イスラエルは強く、安心で、安全でなければなりません。それを、知っておいてください。

さて、トルコが、どれだけ悔しい思いをしているか、お見せしましょう。スルタン・エルドアンは、とっくの昔に正気を失っています。彼は、オスマン帝国を取り戻す時が来たと本気で信じています。彼は、国際法なんてどうでもいいのです。ちなみに、その為、メルケル首相は、彼に恐ろしい電話をかけて、そして、彼女は最終的に言いました。「来月は…」ちなみにそれはもう明日ですが、「来月に入って2週間、トルコがEU加盟国であるギリシャとキプロスの主権を侵害し続けるならば、おそらくEUは、トルコに対する制裁への投票をしなければならない。」さて、非常に興味深いものをお見せしたいと思います。スルタン・エルドアンは、本当に自分が最後の…聞いてください…「モハメッドの最後の軍隊」だと信じています。なぜ、私がそのようなことを言っているのかをよく理解してください。もし、エゼキエル書38章が過激なイスラム教への死の接吻となり、そして、その為、その直後の反キリストの時代、多くのイスラム教徒が世界統一宗教に改宗すると私が信じているなら、彼の軍隊を「ムハンマドの最後の軍隊」と呼ぶのは、つじつまが



あります。彼は2つのプロパガンダビデオを公開して、基本的には「我々は『最後の軍隊』を手に入れた」と言っています。これ、よく見てください。(ビデオ再生) もう一つお見せします、ありがとうございます。2つあります。これをご覧ください。(ビデオ再生) さて、これに全ての時間を費やしません、とにかく、ここに、エルドアンの宣言があることをお見せしたいのです。「私は、再びスンニ派イスラム世界の指導者になるために全力で走っており、私の軍隊はムハンマドの最後の軍隊である。」皆さん、理解する必要があります。彼は反キリストではありません。彼はイスラエルと和平は持ちませんし、しばらくの間、イスラエルを愛する事もあります。彼はイスラエルを破壊したくて、そして、彼は…反キリストは、ユダヤ人が神殿の丘に神殿を建てることを、許可しなければなりません。この男はユダヤ人を滅ぼして、彼らをエルサレムから追い出したいのです。何かを建てさせるものではありません。そのために、彼は「ムハンマドの最後の軍隊」を創設したのです。これは驚異的なことだと思います。その上、皆さん、トルコは明日から…彼は、許可すら求めていません。彼は、「明日、9月1日と2日に実弾演習を行う」と言っています。どこで? ご覧ください。地図上の四角く囲ったところ。まさに、キプロスの海岸沿いです。彼は基本的に、このキプロスの領域を侵害し、他の領域も同様に取っています。クレイジーな狂人です。その為…、ちなみに言っておきますと、その為、ギリシャが必死になって、一部の地域に兵士を連れて行こうとしています。これをご覧ください。ギリシャは今、トルコに非常に近いこの島に軍隊を連れてきています。彼らが部隊を連れてきたことをどうやって知ったのかと言うと、ご覧ください。我々は、これらの写真を入手したのです。ギリシャの人々が、民間船、基本

的にはフェリーを使って、軍隊をあつ島に連れて行っています。皆さん、ギリシャでも今、軍事演習が行われています。そして、今、自分達もそれに加わるだけの力があると感じている国は、どこでしょう？誰だと思いますか？アラブ首長国連邦です。アラブ首長国連邦は、F-16戦闘機を送りました。ギリシャとの演習に参加するために！どこへ？地中海の上空です。エルドアンは怒り心頭で、アラブ首長国連邦の飛行機がトルコ領空に入ってきたら、即座に撃墜すると警告しています。ほら、エルドアンは、アラブ首長国連邦が成功していて、今やイスラエルとの和平を結んでいることに、怒りを燃やしています。また彼は、リビアとイラク、そしてシリアで次々と敗北を喫したまま外に放置されていて、本当にうまくいっていません。彼は、「黒海で大量のガスを発見した」とでっち上げましたが、しかし、皆さん、もし本当に発見して、そう言うなら、なぜ、ギリシャとキプロスの主権を侵害して、一日中、地中海で捜索を続けるのですか？おそらく、



ほとんど見つからなかったからでしょう。そして、それがまさに分捕り物となるのです。これは戦利品、これは、彼らがイスラエルに攻め込んだ時に、奪い取りたい宝物です。ところで、フランスは今、実際にギリシャ空軍に対して、数機の新しい飛行機の販売を申し出ています。ご覧のとおり、これはその1つであり、非常に興味深いものです。それは非常に興味深いです。一方では、トルコ人が怒っているのを目にしている他方では、フランスが今、ここで世界の大国になる事に関心を持っているのです。

皆さんの中には、まだ、マクロンが反キリストかもしれない、と考えている人がいるのも知っています。しかし皆さん、思い出してください。反キリストは、我々がここを出て行かないと、姿を現すことはできません。それを覚えておいてください。しかしお伝えしたいのは、マクロンといえば、あと1時間でベイルートに到着します。彼は、ミシェル・アウン大統領に出迎えられる予定です。ちなみに、レバノンといえば、大統領は、駐ドイツ・レバノン大使だったムスタファ・アディブを、新政府を樹立するために任命しました。覚えていますか？



レバノンのすべての政府は、数週間前の爆発の後に辞任しました。そして今、皆さん、マクロンがフランス帝国としてレバノンを訪問し、そして、あちらでいくつかの場所を訪問して、今夜、あちらを発ちます。レバノンは、安心、安全な場所ではありません。実際、レバノンでは今、南部の都市で内戦が始まっています。すでに、シーア派とスンニ派の間で衝突や交戦があつて、人々が殺されました。これは始まりに過ぎず、今後爆発して、さらに大きくなるかも知れません。ヒズボラは、イスラエルとの国境で、国連の前哨基地を使用していて、それらの間に狙撃兵を配置し、イスラエルの兵士に向けて発砲しています。そして我々が報復すると、ヒズボラは、被害を受けた民間人の家を見せ、彼は…まさに、ハマスがガザでやっているように、彼らが最初に攻撃して、我々が報復すると、イスラエルの報復がどれだけ残忍だったか、民間人の家がどれだけ被害を受けたかを見せます。彼らが民間の場所から撃つてきて、民間人の権利を侵害していると非難するのは、それは戦術であり、既知の戦術であり、彼らはここで立証しようとしているのです。そして一旦、イランがイスラエルへの攻撃を開始するように指示した時には、…もしそれが可能であれば、ですが…彼らは我々に対して、”立証”出来るように。という事で、これがレバノンで起こっていることです。

先週ワシントンを訪れた、イラクのカディミ首相の話もしておきましょう。そして現在、トランプ大統領が、ある合意について話をしている事も、お伝えしておきます。トランプ大統領の公約の1つ、…彼は、約束を守っています。覚えていますか？アメリカが居る必要のない場所からの軍隊の撤退です。イラクには、アメリカが大量に駐留していましたが、先週、イラクのアメリカ軍基地8つが撤退しました。誰も伝えませんが、私はお伝えします。1つや2つではなく、8つの基地がイラクから撤退し、アメリカは、一部の部隊を帰還させ、一部をシリア北部に配置しなおしています。どうしてでしょう？アメリカは、シリアで起こっている事に目を光らせているのです。そして、皆さん、思い出してください。シリアは、我々が注目すべき場所です。エゼキエルに、どれほど近づいているかを理解したければ、ダマスカスに注目しなければなりません。私が信じるに、私は前にも言いましたが、ロシアは、彼らの関心事であるシリアとダマスカスが

最初に破壊されない限り、イスラエルで攻撃を始めることは出来ません。ですからアメリカは、ユーフラテス川の東側のコノガス田と、ロシアの動向に注目しています。ちなみに、ツイッターに投稿しましたが、アメリカ軍とロシア軍の間で色々なことが起こっています。信じられないかもしれませんが、シリアでは、アメリカ軍とロシア軍が、戦いを繰り広げています。米兵が護衛隊を運転しているところへ、ロシアのヘリコプターが低空飛行して、砂埃をたてて視界を遮ったり、数日前には、ロシアの車がアメリカ人にぶつかり、3人のアメリカ人兵士は、感謝な事に軽傷で済みましさへた。しかし、皆さんに言うておきますが、あちらでは、かなり驚くべきことが起こっています。ロシアとアメリカが、シリアの地で戦うなんて、誰が想像しましたか？そのため、アメリカは現在、シリア北部での存在を強めています。その多くは、私達が話している



ように、アメリカが、イラクから移動させています。ちなみに、これはイラク人とアメリカ人の撤退に関する合意です。ご覧のとおり、アメリカの国旗、イラクの国旗、そして撤退が始まりました。そして今、ご覧の通り、皆さん、トランプ大統領は、またしても、それに関する彼の公約を果たしています。ですから皆さん、ご理解いただければ幸いです。中東で多くの事が起こっていて、すべてが、聖書の預言にぴったりと当てはまります。驚くべき事が、ここで起こっているのを目撃しています。アラブ首長国連邦との和平や他の湾岸諸国との和平は、ただ聖書が告げている事を裏付けているだけです。エゼキエル38章の戦争前夜、イスラエルは、どのように見え、どんな姿で、どんな感じで、どのように見られているか。皆さん、それを理解することが重要です。

皆さんは、頭の中から…どう呼べばいいのか分かりませんが、これはまるで、クリスチャンが抱える慢性的な悩みのようなものです。理解してください。反キリストの和平協定は反キリストの台頭を示すもので、我々は、ここにはいません。だから、和平交渉があるたびに、「よし！」と思う必要はありません。違います。今日、ジャレッド・クシュナーが言ったことが一つあるとすれば彼がアブダビに着陸した時、何と言ったかご存知ですか？彼を不気味だと思ってる人がいる事は知っています。しかし、説明させてください。私は彼の発言を見て、そして、アラブ世界では何を言ってもいいが、発言よりも、行動が重視される事を、私は知っています。だから彼らは、「パレスチナ人を助けて併合を先延ばしにした・・・云々」と言うのです。その全てが、聞こえは良いかもしれませんが、ジャレッド・クシュナーが、何と言ったかご存知ですか？「我々は、パレスチナ人以上に平和を望んでいます。我々は、彼らに和平交渉を提案しました。彼らが、それを拒絶したのです。我々は待っていますが、彼らが決心するまで待つつもりはありません。そしてイスラエルには平和が訪れ、その平和は経済的な平和となるでしょう。そして、私達はイスラエルと他の国々との間で、医療、技術、農業と安全保証において協力関係を築く。」これは、パレスチナ人が50数年前からずっと持っていた拒否権です。彼らは、いつも言うて来たのです。「イスラエルが我々の望むものを与えない限り、イスラエルとアラブ世界との平和はあり得ない。」そこへ初めて、誰かが、彼らには受け入れられず、彼らは決して受け入れない取引を交渉台に置いたのです。彼らは、それよりずっと良いものに「否」と言ったのです。彼らは、これに「可」とは決して言わないでしょう。そして、その協定は非常に素晴らしくて、この協定によって、イスラエルが、すでに他の国と和平を持つ事を可能にし、そして、ヨルダン渓谷や、イスラエルの入植地など、今まで維持できなかった土地を、イスラエルが維持できるようにします。これまでの他のすべての和平協定は、イスラエルにその入植地のすべてを解体し、パレスチナ人にエルサレムの旧市街を与えることを要求していました。これですか？いいえ、パレスチナが、旧市街から一片たりとも得る事はありませんし、誰1人として、ユダヤが自宅から撤退させられることはありません。確かに、彼らは、“パレスチナ国家”について話しています。私も、それは嫌ですよ。しかし、一つ言えることがあります。彼らは、1947年にもパレスチナ国家の話をしていて、我々は「可」と言いました。彼らが「否」と言うことを知っていましたから。彼らは1980年代、1990年代にもパレスチナ国家について話し、さらには、2000年にも、バラクが彼らにそれを申し出ている、そして、彼らは「否」と言い続けました。それが今回初めて、断られるのを承知の上で、待つ事なく、少なくとも平和の果実を堪能出来るのです。皆さんは、それを理解する必要があります。トランプ和平交渉は、おそらく、私が今まで見てきた中で、最も輝かしい契約です。初めてパレスチナ人に考える時間を与え、その間、イスラエルは待つ事なく、すでに和平協定や経済的協力、その他を得たのです。これにより、イスラエルは財政的、軍事的、技術的に、さらに強力

になります。そして、それこそが、エゼキエル戦争の前夜にイスラエルがあるべき状態です。ですから、聖書の預言と完全に一致しています。皆さん、理解する必要があります。これは素晴らしいことです。私達は、信じられない時代に生きています。信じられない時代です。私は、それを見るたびに驚き、励まされています。覚えておいて、忘れないでください。我々は、あの平和協定と反キリストを見ることはありません。我々はここに居て、彼が登場するのを見ることはありません。我々は、彼が支配するのを見ることはありません。私達は、絶対に獣のしるしを考える事すら必要はありません。なぜなら、私達は、ここから出て行きますから。だから、その考えを取り除いて、覚えておいてください。私達は、約束を守ってくださる御父の、最も素晴らしい手の中にいるのです。私は励まされています。

さて、今回のアップデートのテーマに移りたいと思います。私は、アップデートのたびに、アップデート以外にテーマを設けるようにしています。重要なことですから。私が思うに、非常に多くの国々、世界中の非常に多くの地域から非常に多くの人が見ているので、できる限り多くの教義を伝え、聖書を伝えなければなりません。皆さんに知っていただきたいのですが、多くの人気がなっていることの一つは、「誰が携挙されるのか？」さて、ここではっきりさせておきます。私は、「誰が救われるのか」とは言いません。

私は、そうは言いません。私は、意識してそう言いませんでした。いずれにせよ、携挙されている人は誰でも救われるからです。しかし、最終的に救われる人が全員、携挙されるわけではありません。私は、何を言っているのか？つまり、携挙は特定の集団を連れ去ります。そして、いったん、その集団が取り去られると、地球上の残りの方々には、…非常に厳しい条件下ではありますが、また、救われる機会があります。そして、最終的には千年王国に入り、新しいエルサレムに入ります。しかし、彼らは携挙されることはありません。だからまず、理解しなければなりません。聖書では…聖書的に、国家としては、ローマ人への手紙が告げている通り、イスラエルが携挙される事はありません。明らかに、イスラエルは盲目にされていますから。そして、ローマ11章では、異邦人の満ちる時まで盲目にされるとあります。(25~26節参照)つまり、携挙の後であっても、異邦人のすべての人が、それを聞き、受け入れる機会が与えられるまで、たとえ、その人が、その代償に首をはねられるとしても、それで終わりです。ですから、国家としてのイスラエルは、国家として携挙されることはありません。もちろん、私はイスラエル人であり、ユダヤ人ですが、私はすでに信者であり、私はすでに花嫁の一部です。その為、私は携挙されます。私は聖書に書かれていますことが大好きです。ヨハネの福音書3章だったと思いますが、非常に重要なので、ここに載せます。18節で、イエスが仰っていることを、ご覧ください。「御子を信じる者はさばかれない。…」私はイエスを信じています。しかし、これをご覧ください。

「(しかし、)御子を信じない者はすでに裁かれている。神のひとり子の名を信じなかったからである。そのさばきとは、光が世に来ているのに、自分の行いが悪いために、人々が光よりも闇を愛したことである。」(18節から19節)

ここで何を言っているか、分かりますか？私が言っているのは、私達全員が、自分が何者であり、何をしているかに基づいて救われるのではない、ということです。しかし、私達が信じる瞬間…それはもちろん、ヨハネ3章にもあるように、とても簡単なことです。はっきり分かる通り、ヨハネはユダヤ人に向かって話していて、失礼、ヨハネ3章で、イエスがユダヤ人に話しかけておられて、16節で言われている事を見てください。

「神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに世を愛された。」(16節a) ユダヤ人、異邦人…
「それは御子を信じる者が、一人として滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。」(16節b) 永遠のいのち。「神が御子を世に遣わされたのは、世をさばくためではなく、御子によって世が救われるためである。」(17節)

イエスの初臨は、その瞬間から私達がここを出るまでの間、世と人々を救うためのものでした。自分が罪人であることを理解し、悔い改め、十字架上のイエスの完成された御業を信じ、人として来られた神であることを信じると決めた人は誰でも、救われ、携挙されます。しかし、皆さんに理解していただきたいのは、この聖句は非常に重要です。ローマ11章から分かる通り、イスラエルは異邦人の満ちるまでは信じず、

その時になって初めてイスラエルの全家が救われるのです。そして、それはもちろん、ゼカリヤ書12章、14章が言っていることです。彼らは、唯一、イエスが地上に戻られ、自分たちが突き刺した者を仰ぎ見るときに、彼らは嘆き、泣き、そして悔い改めます。(10節参照)それは、ゼカリヤ書12章にあります。ですから、国家としてのイスラエルは携挙されません。大患難の聖徒は、どうでしょうか?反キリストが姿を現す前に我々がここを連れ出されたら…さて、反キリストが姿を現す前に、我々が連れ出されることがどうして分かるのでしょうか。第二テサロニケ2章から、それが分かります。聖句をお見せしましょう。

「私がまだあなたがたのところに行ったとき、これらのことをよく話していたのを覚えていませんか。不法の者がその定められた時に現れるようにと、今はその者を引き止めているものがあることを、あなたがたは知っています。」(5節~6節)

反キリストです。前の節で、反キリストの話をしていますから。パウロは言います。「不法の秘密はすでに働いています。…」(7節a) ええ。見えています。そして彼は続けます。「ただし、秘密であるのは、今引き止めている者…私達の中におられる聖霊だけ…が取り除かれる時までのことです。その時になると、不法の者が現れますが、主イエスは彼を御口の息をもって殺し、来臨の輝きをもって滅ぼされます。」(7節から8節)

ですから、反キリストが明らかになるのは、教会の信者の中にある、聖霊が取り除かれる時です。そして、その時、彼が明らかにされると聖書は告げています。そして、イエスが彼を滅ぼされるのは、再臨の時だと書かれています。ですから、私達の携挙から、イエスが私達と一緒に再臨されるまでの7年間は、教会としての聖霊はいなくなります。もちろん、旧約聖書の時代のようにいつも聖霊の臨在があります。もちろん、それがなくては救われることはありませんから。しかし、聖霊が教会に封印されるという形は、歴史上かつてなく、今も昔も、そしてこれからも特有なものです。そして、教会の誕生は、彼らの中に聖霊が降臨することによってであり、それ以外の何ものでもありませんでした。そしてその、引き止めるもの、腐敗を遅らせるものの為に、私達は地の塩と呼ばれています。(マタイ5:13、マルコ9:48~50、ルカ14:34~35参照)塩は腐敗の進行を遅らせるもので、私達が出れば、地獄のような状態になります。皆さんは、それを理解する必要があります。それからその時、ある人達は、その7年間に反キリストが行う恐ろしい事を目にし、そして、何らかの形で、多分、二人の証人や14万4千人の伝道者を通して彼らは主に導かれ、信じます。彼らは、黙示録の中で大患難の聖徒として知られています。(11章、13章参照)彼らは、ただの「聖徒」ではなく、彼らは大患難の聖徒です。彼らは教会ではありません。教会は、大患難の中には言及すらされていませんから。彼らは、私達の携挙の時に、私達と一緒に携挙されることもありません。彼らは、大患難の終わりに携挙されます。聖書は、それを黙示録19章と20章で述べています。それは分かります。ですから、私達の携挙には、イスラエルも大患難の聖徒も含まれません。明らかに、彼らはまだ救われていませんから。そしてもちろん、国家や非信者は含まれません。ですから、残りはイエスを信じている人だけです。しかし、ちょっと待ってください。ちょっと待って。イエスご自身が、複数回おっしゃったと思います。「主よ、主よ」と言っている人が、全員、御国に入るわけではない。(マタイ7:21~23参照)実際に、ここに書かれていることを読んでみましょう…まず、第一テサロニケ1章にある、私達について書かれていることを、お話しします。そして、それはもちろん…ここに書いてあります。

「人々自身が私達のことを知らせています。私達がどのようにあなたがたに受け入れてもらったか、また、あなたがたが、どのように偶像から神に立ち返って、生けるまことの神に仕えるようになり、御子が、天から来られるのを待ち望むようになったかを、知らせているのです。この御子こそ、神が死者の中からよみがえらせた方、やがて来る“御怒り”から、私達を救い出してくださるイエスです。(9~10節)

ちなみに、ダニエルは、“御怒り”を7年間の全体として語っています。ですから、当然、来る御怒りは、私達には関係ありません。それだけでは足りない方は、皆さん、マタイ12章をご覧ください。私の言っていたのは、これです。イエスが、マタイ7章の山上の説教でおっしゃいました。覚えていますか?「わたしに向かって、『主よ、主よ』という者がみな天の御国に入るのではない」彼らは、主の御名において非常に多

くのことをしたにも関わらず、彼らは入れません。そして主は、仰います。「わたしはおまえたちを全く知らない。不法を行う者たち…」(21～23節参照)とて興味深い事に、主は言われました。「わたしの父のみこころを行う者たち」そして、これをご覧ください。つまり、ヨハネの話です。すみません、ヨハネ…ここをご覧ください…失礼…ここにはたくさんの節があります。「わたしの父のみこころを行う者たち」ありました。ヨハネ14章です。さて、ヨハネ14章は、主がどのようにして来られ、私達を、主のおられるところに連れて行ってくださるのかを語っています。覚えていますか？

「わたしがいるところに、あなたがたもいるようにするためです。…わたしがどこに行くのか、その道をあなたがたは知っています。…」(3～4節)

ですから、イエスは、私達のために場所を用意しに行き、それから戻って来て、私達を主とともに連れて行くと仰っているのです。ヨハネ17章の、もう一つの驚くべきことは、これをご覧ください。イエスが言われたことです。それが、今日の私の啓示の一つでもあります。なぜなら…イエスが言われたことをヨハネ17章をご覧ください。主はこう言われました。

「父よ。わたしに下さったものについてお願いします。わたしがいるところに、彼らもわたしとともにいるようにしてください。」(24節)

イエスは言われました。「父よ、わたしは、あなたの元にまいります。」イエスの昇天の直前です。イエスは言われます。「あなたが与えてくださったわたしの栄光を彼らが見るためです」イエスが持っている栄光はどこにありますか。思い出してください。もちろん、栄光は天にあります。そこが、イエスが居られた場所です。覚えていますか？ 彼は、天の最愛の人です。そして、もちろん、主は、その栄光を捨てて、仕える者の姿をとり、人間と同じようになられました。(ピリピ2:7参照)そして、主は、ご自分に与えられた者達が、主の居られる所に主といっしょに居て、その栄光を見る事を望んでおられます。(ヨハネ17:24参照)言い換えれば、イエスは、私達を主の栄光が見れる場所に連れて行く計画をしておられるのです。これは非常に重要です。私に言わせれば、これも携挙の一節です。そしてもちろん、マタイ12章といえば、これをご覧ください。主の言っておられることをご覧ください。そこに居た信者達は、皆、イエスだけでなく主の母や、それから…これをご覧ください。イエスは言われました。

「だれでも天におられるわたしの父のみこころを行うなら、その人こそわたしの兄弟、姉妹、母なのです。」(50節)

あなたが信じない限り、携挙によって神の国に入ることはできません。そして、信じる方法は、あなたの行いや、あなたの働きに基づくものではありません。エペソ人への手紙二章は、明らかにそれが恵みによるものであることを示しています。ちなみに、今週のヤングアダルトのテーマは「私達は皆、どのようにして恵みによって救われたのか」エペソ2章からお読みしますので、ご覧ください。こう書いてあります。5節で、このように言っています。4節です。

「しかし、あわれみ豊かな神は、私達を愛して下さった、その大きな愛のゆえに背きの中に死んでいた私達を、キリストとともに生かしてくださいました。あなたがたが救われたのは恵みによるのです。神はまた、キリスト・イエスにあって、私達をともによみがえらせ、ともに天上に座らせてくださいました。それは、キリスト・イエスにあって私達に与えられた慈愛によって、この限りなく豊かな恵みを、来るべき世々に示すためでした。この恵みのゆえに、あなたがたは信仰によって救われたのです。それは、あなたがたから出たことではなく、神の賜物です。行いによるものではありません。誰も誇ることはないためです。実に、私達は神の作品であって、良い行いをするためにキリスト・イエスにあって造られたのです。神は、私達が良い行いに歩むように、その良い行いをあらかじめ備えてくださいました。」(4節～10節)

それを理解することは、非常に重要なことです。なぜなら、イエスは言われました。「天の御国に入るのは、わたしの父のみこころを行う者たちだけだ。彼らは私の父のみこころを行なっている。」そして、御父とイエスは一つです。(ヨハネ10:30参照)彼らが御父と一体でなければ、イエスは彼らと一体になることはできません。彼らは、父のみこころを知らなければなりません。どうすれば、神のみこころを知ることができますか？ちなみに、イエスは肉をまとわれた神だと信じていない人、イエスの神性を除外している人は、新生して、霊に満たされている者という携挙の基準を満たしていません。これが、私達の信仰のABCですから。「父とわたしは一つです」「主は私に、世界の基が据えられる前から、ものごとを明らかにされ、与えてくださった。」(エペソ1:4、第一ペテロ1:20参照)イエスは、ただの人間がここに来たのではありません。イエスの神性の話です…皆さん、一つ言っておきます。第二神殿時代に住んでいた、1世紀のユダヤ人は、彼が、ただの人間ではなく、神であると理解してこれらの福音書のすべてを書きました。非常に多くの聖句、非常に多くのイエスについての記述、非常に多くの新約聖書の中の旧約聖書の引用も、そのすべてが、イエスの神性を語っています。それを理解することは重要です、皆さん。ですから、理解してほしいのです。携挙の時、誰が、私達と一緒に携挙されないかが分かりました。すでに分かっているのは、国家としてのイスラエル、それから、大患難の聖徒達、彼らは、まだ信者ではありませんから。それからもちろん、まだ信じておらず、イエスを拒絶した異邦人の国家、その全員です。しかし信じている人達、あるいは、“自称”信者、主の御名を使って「主よ、主よ」と言っている人達の中には、皆さん、一つ言っておきますが、全員が、その要件を理解しているかどうか分かりません。皆さん、これは、イエスが神であると信じている人たちだけです。私達の罪のために死に、よみがえられた方、それに応えて悔い改め、神の赦しを求めた罪人達、これがその方法です。それは、キリストへの謙遜と服従の行為です。ノンクリスチャンは、神に従う事が出来ず、聖霊の内在によって行われる善い行いができません。聖霊を持っていませんから。多くの人が言っています。「このラビの言うこと、あのラビの言うこと、この数学者の話を書きましたか？」ほら、皆さん、私の救いに関する事、私の将来に関して、私は、聖霊を持った人の言うことを聞きたいです。という事で、自分の働き、自分の行いで行けるとは思いません。聖句に何かを付け加えることができるかと思ったり、また、何かを取り去ることができるかと思ってもいけません。私がこれを行っているのは、繰り返しますが、イスラエルは、もはや神の民ではないと信じている人々は、明らかに聖書の一部を取り除いていますから。ユダヤ人として来られて、頭上に「ユダヤ人の王」と掲げられ、十字架につけられたイスラエルの神、イスラエルのメシアを愛し、礼拝しながら、歴史を変えて、今、ユダヤ人は、もはや神の民ではないと言う事は出来ません。ローマ11章を含む、聖句が告げているのです。これは、正統派ユダヤ人であったパウロが書き、彼は、宗教が答えではないことを理解しながらも、イスラエルには目的があり、イスラエルの全家が救われる日が来ることを理解していました。言わせていただきますが、誰でも、聖書を取り消す者、聖書を変更する者、人間を神のように扱い、崇めている者。もしくは、キリストの神性を否定して、ただの人と考える者は聖霊に導かれていない者、イエスの完成された御業に完全に信頼せず、自分の働きに頼る者、その人は、御父のみこころを行なっておらず、明らかに、神の王国に入ることはできません。そういう事です。そして、皆さん、知っておいてください。携挙は、大患難の前に起こります。第一テサロニケ1章、第二テサロニケ2章、ヨハネ14章で、そのことを話しています。フィラデルフィア教会への黙示録第三章をはじめ、たくさんの聖句があります。第一テサロニケ5章では、私達は神の御怒りを受けるように定められていないことが分かります。(9節参照)主は来るべき怒りの時から、私達を連れ出してください。皆さん、反キリストが明らかにされる前に引き止める者が取り除かれなければなりません。皆さん、イエスが私達のために準備をしているとイエスご自身が仰っていたことが分かります。主は来られて、私達を主のおられるところに連れて行ってください。私達のために場所を用意して、それを使わないのは、何のためですか？私達には行く場所があり、出席すべきイベントがあるのです。それは、キリストのさばきの座(第二コリント5:10参照)と、天国での結婚式です。ですから、お勧めしたいと思います。まず、自分自身を調べてください。みことばを省いていますか？さらには…イエスは言われました。「あなたがたは『主よ、主よ』と言うが、わたしはあなたを知らない。」(マタイ7:21~23参照)賢い娘たちと、愚かな娘たちのたとえでさえ、彼女らは花婿を知っているように見えますが、彼は、彼女らを知りません。(マタイ25:1~12参照)「私は、あなたを知りません。」関係性がゼロだからです。彼らは宗教的で、聖霊を持っていないから、聖霊に同調しないのです。皆さん、主との個人的な関係を持ってください。そして、完全に自分を主に捧げ、自分の中には、自分を救うことができるものは何もないことを認めてください。行いによるのではあ

りません。あなたが救われたのは恵みによるのです。ところで、あなたを救ったその恵みによって、今、あなたの中には聖霊が宿り、それが御霊の実を結ぶのです。それによって、あなたが信者であることが分かります。（ガラテヤ5:22～23参照）また、もちろん、信仰の結果としての行いがあります。行いによって救われるわけではありませんが。信仰だけで救われます。しかし、その後、その成果として行いが生まれます。行いのない信仰は死んでいる、とヤコブの手紙にはそう書いてあります。（2:26参照）だから、反ユダヤ主義者が、神の御国を受け継ぐことはできません。マタイ25章によれば、彼らは千年王国に入ることすら許されません。イエスは言われました。「あなたたちが、この最も小さな者たちの一人にしなかったのは…」（41～46節参照）そしてヨエル書3章によると、すべての国は、彼らがイスラエルに対してした事を、申し開きしなければなりません。そして、神は、大患難の終わりにすべての国々を、それに基づいて裁かれます。もし、彼らが千年王国に入ることを神がお許しにならないなら、神は、彼らが御子の花嫁となり、神の御前に入る事を許されるのでしょうか？皆さん、理解してください。個人的な関係は、イエスの流された血によってのみ、与えられます。支払うべき代価がある事を理解するのは難しいですが、その血が、私達を近づくと聖書は告げています。そしてその血は、何よりも尊く、力強いものなのです。私達の救いのために代償が支払われました。そして、もし、あなたがそれを理解せず、聖餐式によって、それを思い出もしないなら、そしてもし、あなたが、この主の死を主が来られる日まで完全に無視しているなら、どうしたら自分は主を知っていると言えるのでしょうか？イエスは、あなたを知らないかもしれません。もちろん、イエスは皆を知っていますが、ここには個人的な関係がありません。純粋な信仰はありません。

ところで、最後に一つ。主は、私達を迎えに来られる時、私達が、御父の仕事に従事している事を願っておられます。（ルカ12:37～38参照）もし私達が、御父のわざを行なっておらず、救いのメッセージを与えるために世界に手を差し伸べていないのであれば、悔い改める必要があると伝え、罪深いと伝え、解決策があると伝え、彼らのために流された尊い血のことを伝え、神が代価を支払われたから彼らは死ななくてもいい事を伝え、この永遠のいのちについて伝えてください。素晴らしい事に、ヨハネ17章には、こう書かれています。…ヨハネ18章でしたかね…イエスは言われました。「永遠のいのちとは…」 「…唯一まことの神を信じ、イエス・キリストを知ること」（17:3参照）それが唯一の道であり、唯一の真理であり、唯一のいのちです。だから、皆さんを励ましたいと思います。この道を歩み続けてください。皆さん、言っておきます。皆さんは、本当に、ここには居たくないはずです。皆さんは、本当に取り残されてはいけません。大患難の聖徒は、大患難の間限定で、他の人々を通して伝えられる結果として、信仰が与えられるのです。しかし、私が思うに、神の御言葉を聞いていながら今、あなたが救われていないなら、あなたは、それを聴き、自らクリスチャンを名乗りながら、信者にはならず、自分のやり方で拒絶しているなら、高い確率で、あなたは強い惑わしに襲われて、その時、あなたは何も覚えていないでしょう。思い出してください。今すぐイエスを受け入れましょう。そうすれば、明日、あなたは主とともに君臨します。今、主を拒絶するなら、あなたは明日をも知れぬ身となるでしょう。

では、私達の話を知っている人、世界中からご覧になっている人のために、お祈りします。

お父様、自らをクリスチャンと名乗る人達の為に祈ります。…イエスの御名の下に今、他の人を殺している人をたくさん知っています。彼らは殺害し、盗み、十字架を利用し、イエスの御名を用いて恐ろしいことをしています。彼らは、邪悪なプロパガンダと、非常に多くの人々に憎しみを広めています。お父様、どうか彼らを悔い改めさせてください。救い主の必要性を理解させてください。救い主はユダヤ人です。ユダヤ人のメシアであり、主は来られ、今もユダ族の獅子です。イスラエルを憎んで、ユダヤ人の王を愛することはできません。それは不可能です。反ユダヤ主義には、なれません。また、人生を自分の好き勝手に生き、自分の人生を完全に神に捧げることはできません。お父様、あなたが多くの人々の心の目を開いて、彼らが、あなたの御業の驚異を見るようにお祈りします。イエスの血の力と聖霊の力によって、彼らがあなたのみもとに引き寄せられますように。そしてもちろん、私達に必要なのは、私達を清める、あなたのみことばです。あなたのみことばは真実です。お父様、ありがとうございます。この配信を通じて、多くの人がひざまずいて悔い改め、あなたのみことの信者になるようにと祈ります。そして、彼らも、すぐに携拳され、主と空中でお会いしますように。そしてその瞬間から、彼らは二度と主の視界から離れることはないでしょ

う。あなたのすべての素晴らしい約束に感謝します。偉大なご計画をありがとうございます。しかし、お父様、それは私達次第です。私達の意志と人生を、あなたに委ねるのか、あるいは、クリスチャンを演じるのか。そして、その日が来て、ドアが閉まると中に入ることができなくなります。お父様、あなたが聖書で私達に警告してくださったことに感謝します。そして今、私達には、まだあなたに立ち返る時間があります。あなたのみことばに感謝します。あなたの約束を感謝します。

父なる神様、イスラエル国民がひどい大患難の前に目を開けて、あなたのところに来るようにお祈りします。お父様、私はまた、この世界の指導者たちのために、今、祈ります。父なる神様、あなたが導き、彼らを守ってください。そしてお父様、できるだけ早く、私達をここから連れ出し、あなたと共に居れるようにしてください。この世界は、本当に私達の居る場所ではありません。しかしそれまで、私達は、あなたの仕事をし、忠実なしもべでありたいと願います。あなたに感謝し、イエスの御名においてあなたを祝福します。

主があなたを祝福し、あなたを守られますように。

主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。

主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。 (民数記6:24~26 ヘブライ語)

主があなたを祝福し、あなたを守られますように。

主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。

主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。 (民数記6:24~26 英語)

神との平和を得る唯一の方法は、イエスを信じることです。イエスは平和の君、平和の主であり、今も永遠に、ここでも、そしてどこでも、あなたに平和を与えることができます。

主の御名によって祈ります。

アーメン。

ありがとうございました。

God bless you!

このメッセージを、できるだけ多くの人と共有してください。

I love you!

「The Last Hour」「The Day Approaching」をご購入されていない方はウェブサイトにてご購入いただけます。ソーシャルメディアのYouTube、Facebook、Instagram、TwitterでBeholdIsraelをフォローしてください。

ありがとうございます。

God bless you!

ガリラヤより、シャローム!



メッセージ by Amir Tsarfati / Behold Israel :<http://beholdisrael.org/>

ビホールドイスラエル 日本語 YouTube チャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UCLcuvC6Mr63AqwiiXDkwRVQ>

2020.09.12 (Sat)